

中学校 国語科 問題用紙

(五枚のうち二)

受験番号

氏名

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

一 次の文章を読んで、問一～問五に答えなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(五枚のうち二)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(加藤 周一「文学とは何か」による。)

(注) フロベール II フランスの小説家。

- 問一 ①〜⑥の語について、カタカナは漢字に直し、漢字はその読みを書きなさい。
- 問二 この文章中の(a)〜(c)のいずれかの位置に、次に示す文章が段落として入ります。どこに入れるのが最も適切ですか。その記号を書きなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

- 問三 1 詩人の態度とありますが、これはどのような態度ですか。二十字以内で書きなさい。
- 問四 2 懐古と熟語の構成が同じものを、次のア〜エの中から選び、その記号を書きなさい。
- ア 純化 イ 写真 ウ 周囲 エ 無用
- 問五 3 裏切ることそのことばによって文学として成立していますとありますが、これはどういうことですか。筆者のとらえ方を踏まえ、百五十文字以内で書きなさい。

中学校 国語科 問題用紙

(五枚のうち三)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

〔一〕 平成二十年三月告示の中学校学習指導要領 総則 指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項 2 には、「各教科等の指導に当たっては、体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習を重視するとともに、生徒の興味・関心を生かし、自主的、自発的な学習が促されるよう工夫すること。」と示されています。また、平成二十年三月告示の中学校学習指導要領 国語 各学年の目標及び内容〔第1学年〕 2 内容 B 書くこと (1) ウ には、「伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。」と示されています。第一学年の生徒に、伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にさせて書かせる指導を行います。その際、来年度中学校に入学する六年生に向けて学校紹介を行う活動と関連付け、単元を通じた言語活動を設定し、問題解決的な学習を行うこととします。どのような言語活動を設定した単元を計画しますか。時数、学習活動及び指導上の留意事項を書きなさい。

29 中学校 国語科 問題用紙

(五枚のうち四)

受験番号	
氏名	

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

三 次の文章を読んで、問一～問五に答えなさい。

人の聞くには掻きも鳴らさず、人知れず教へし月日を数へて待つに、またの年の八月十五夜になりぬ。その年、この君は十四になりたまふ。早朝より雨降り暮らせば、「1月もあるまじきなめり」と、口惜しうながめ暮らすに、夕さりつかた風うち吹きて、月、ありしよりも空澄みて、明くなりぬ。殿は、今宵内に文つくり御遊びあるに、a参りたまひぬれば、いと静かなるに、端近く御簾巻き上げて、宵には例の箏の琴を弾きたまひて、人静まり夜更けぬるにぞ、琵琶を、教へるまに、音のあるかぎり出だして弾きbたまへれば、姫君、「つねに弾きたまふ箏の琴よりも、これこそすぐれて A。昔よりとりわき殿の教へたまへど、つねにたどたどしくて 2え弾きとどめぬものを、あさましき君の御様かな」と、聞きおどろき、うらやみたまふ。例の御殿籠りたるに、ありし同じ人、「教へたてまつりしにも過ぎて、あはれなりつる御琴の音かな。この手どもを聞き知る人は、えしもやなからむ」とて、残りの手いま五つを教へて、「あはれ、あたら、人のいたくものを思ひ、心を乱したまふべき宿世のおはするかな」とて、帰る人「と見たまふに、この手どもを、覚めて、さらにとどこほらず弾かる。あさましう、思ひあまりて、姉君に、「夢に琵琶を教ふる人こそあれ」とばかり dきこえたまへど、なかなか語りつづけたまはず。

またかへる年の十五夜に、月ながめて、琴、琵琶弾きつつ、格子も上げながら寝入りたまへど、夢にも見えず。うちおどろきたまへれば、月も明けがたになりけり。3あはれに口惜しうおぼえ、琵琶を引き寄せて、天の原雲のかよひ路とちてけり月の都のひとも問ひ来ず

暁の風に合はせて弾きたまへ。る音の、言ふかぎりなくおもしろきを、4大臣もおどろかせたまひて、「めづらかに、ゆゆしくかなし」と聞きたまふ。
(「夜の寝覚」による。)

(注) この君 Ⅱ 中の君。 殿 Ⅱ 父の太政大臣。 姫君 Ⅱ 姉君。
ありし同じ人 Ⅱ 去年の今夜天下った同じ天人。

問一 a 参り、b たまへ、d きこえはそれぞれ誰に対する敬意を表していますか。次のア～カの中から選び、その記号を書きなさい。

ア この君 イ 姫君 ウ 殿 エ 帝 オ ありし同じ人 カ 読み手

問二 c め、e るをそれぞれ文法的に説明しなさい。

問三 A にあてはまる動詞「聞こゆ」について、適切な活用形にして書きなさい。

問四 1 月もあるまじきなめり、2 え弾きとどめぬものを、4 大臣もおどろかせたまひて、を、それぞれ口語訳しなさい。

問五 3 あはれに口惜しうおぼえとありますが、この君はどのようなことに対して、「あはれに口惜し」と思ったのですか。八十字以内で書きなさい。

四 平成二十年三月告示の中学校学習指導要領 国語 各学年の目標及び内容 1 目標 (1) には、各学年における話したり聞いたりしようとする態度に関する目標が示されています。話したり聞いたりしようとする態度に関する目標について、各学年どのようなことが示されていますか。それぞれ簡潔に書きなさい。

(五枚のうち五)

受験番号	
氏名	

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

〔五〕 次の文章を読んで、問一〜問六に答えなさい。(設問の関係で返り点・送り仮名を一部省略している。)

晏子使^レヒス魯ニ。仲尼、命^ニジテ門弟子^一ニ往^{キテ}觀シム。子貢反リ、報^{ジテ}曰ク、
 「孰^カ謂^フ晏子ヲ習^{ヘリト}于禮^ニ乎。夫禮^ニ曰ク、『登^レリテ階^ニ不^レ歴セ、堂上^ニ不^レ趨^{ハシ}ヲ、授^レクルニ玉ヲ不^レト跪カ。』今晏子ハ皆反^レセリ此ニ。孰^カ謂^フ下^ニヲ習^フ于禮^ニ者^ト上^ト。」晏子既^レ已^レ有^レリ事^ニ于魯君^ニ、退^{キテ}見^ル仲尼ヲ。仲尼曰ク、
 「夫禮^ニ、登^レリテ階^ニ不^レ歴セ、堂上^ニ不^レ趨^ラ、授^レクルニ玉ヲ不^レ跪カ。夫^レ子反^{スル}ハ此^ニ禮^ニ乎。」晏子曰ク、「嬰聞ク、兩楹之間ハ、君臣有^レリ位焉、君行^ニ其^ノ一^ヲ、臣行^ニ其^ノ二^ヲ。君之來^ルコト速^{ヤカ}ナリ。是^ヲ以^テ登^レリテ階^ニ歴シ、堂上^ニ趨^リ、以^テ及^レフ位^ニ也。君ガ授^レクルコト玉ヲ卑^シ、故^ニ跪^{キテ}以^テ下^{レル}之^ニ。」**A** 吾聞^レク之^ヲ、大ナル者ハ不^レ踰^エ閑ヲ、小ナル者ハ出^入シテ可^也ト。」晏子出^ツ。仲尼送^レルニ之^ヲ、以^テ賓客之禮^ニヲ、反^{リテ}命^ニジテ門弟子^一ニ曰ク、「不法之禮ハ、維^テ晏子^ノ為^ニスト能ク行^フト之^ヲ。」

(「晏子春秋」による。)

〔注〕 晏子 春秋時代の人物。晏嬰のこと。

魯 国名。

仲尼 孔子のあざな。孔子は魯の人である。

禮 礼。

歴 一段ごとに兩足をそろえないで、一段ごとに片足をかけて登る。

兩楹之間 堂上の兩柱の間。

閑 法。

問一 a 夫、既^b已^cの本文中における読み方を、送り仮名も含めてそれぞれ現代仮名遣いで書きなさい。

問二 c 是^dヲ以^eテ、可^f也の本文中における意味を、それぞれ書きなさい。

問三 **A** にあてはまる最も適切な語を、次のア〜オの中から選び、その記号を書きなさい。

ア 故 イ 唯 ウ 則 エ 且 オ 未

問四 1 仲尼、命^{ジテ}門弟子^ニ往^{キテ}觀シム、夫子反^{スル}ハ此^ニ禮^ニ乎を、それぞれ口語訳しなさい。

問五 2 孰^カ謂^フ晏子ヲ習^{ヘリト}于禮^ニ乎を、書き下し文にしなさい。

問六 4 仲尼送^レルニ之^ヲ以^テ賓客之禮^ニとありますが、仲尼は、なぜこのように行動したのですか。その理由を

六十字以内で書きなさい。

中学校 国語科 解答用紙

(四枚のうち二)

受験番号
氏名

問題番号

解答欄

時数	学習活動	指導上の留意事項

※必要に応じて罫線は加えてもよい。

